それいゆ広報

VoL114

医療法人同仁会
■介護老人保健施設　それいゆ
TEL0577-35-3030
■桐　生　ク　リ　ニ　ッ　ク
TEL0577-35-3880　FAX（共通）0577-35-3063
■折　茂　医　院
TEL0577-34-5025
■それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
■ヘルパーステーション　それいゆ
TEL0577-37-3360
■病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
■ケアプランセンター　それいゆ
TEL0577-35-3770
■ショートステイ　それいゆ
TEL0577-35-0710
■シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
■デイサービスセンター　べれる
TEL0577-36-7077
■Dr,Orishige　ビオメゾン
TEL0577-37-0800
■ヘルパーステーション　レザミ
TEL0577-37-0800
■デイサービスセンター　れざみ
TEL0577-37-5666

新年を迎えて

医療法人同仁会
理事長　折茂謙一

新年あけましておめでとうございます。今年一年皆様に良い年でありますようお祈り申し上げます。昨年十二月には数十年ぶりの大雪が降りました。御嶽山の噴火といい自然の驚異は予測することができません。人間社会の変化はある程度は予測出来そうですが、予測と現実は相当なキャップがあります。我が国の高齢化率と認知症高齢者の増加は予測を超えています。二〇一三年以降六十五歳以上の高齢者が総人口に占める割合が二五％を超える超高齢社会となりました。

日本で初めて一〇〇歳以上の人口を調査したのは一九六三年でその時は一五三人。二〇一〇年の国勢調査では四・四万人、二〇一四年九月時点では五・八万人、二〇六〇年には六四万人と推計されています。高齢者が増えると死亡する人もどんどん増えますから其れに対応できる見取りの体制が必要になります。

『最後をどこで過ごしたいか』というアンケートでは六〇％の人が自宅を希望しています。現実には死亡者数の八割が病院となっています。消防庁の統計では急死は五％弱となっていますので九割以上の人が動けなくなって相当期間を病院で過ごして亡くなっているということになります。この状態が続くと救急医療は完全に麻痺してしまいます。ターミナルケアをどのようにするか、重症な高齢の患者さんの在宅ケアをどうするかが今後の重要課題になります。

二〇一三年に地域包括ケアシステムの構築、推進が計画されました。地域包括ケアシステムは五つの事業として、医療、介護、予防、生活支援、住まいがありますがその中核となるのは医療と介護であります。病院や診療所は医療だけ、介護施設は介護だけを行うというのが現状ですが、今後は医療も介護も同時に必要な高齢者が増えるので医療と介護が連携した一体的な複合施設が必要不可欠になります。

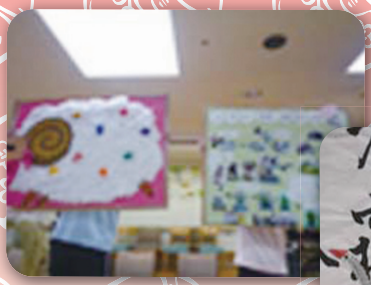
医療法人同仁会では昭和町のメディケアガーデンに自立した人から介護が必要な人、医療が必要な人、さらにはターミナルケアが必要な人まで受け入れることができる複合施設を作りました。

現在わが国では毎年数十万人規模の労働人口の減少が始まっており、労働人口の確保が困難になりつつあります。少ない人的資源で高齢社会を支えていくためには、このような包括ケア施設が今後は必ず必要になります。そのモデルケースとなれるよう工夫してまいりますので、皆様の御指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

歳時記

高山太極拳協会様来所

それいゆ文化祭



クリスマス会

餅つき大会・花もち作り

永年勤続表彰

勤続十年を迎えた職員四名の特別表彰が、十二月二十日ひだホテルプラザにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。おめでとうございます。

・それいゆ訪問看護ステーション
管理者　白川教子

・シャロン・ド・それいゆ
管理者　牧田功

・シャロン・ド・それいゆ
介護福祉士　門村和彦

・ケアプランセンターそれいゆ
介護支援専門員　小林智子